

1. 件 名：実機材研究貸与に関する意見交換
2. 日 時：令和2年8月31日(月)13時30分～14時00分
3. 場 所：原子力規制庁 16階A会議室
4. 出席者

原子力規制庁長官官房技術基盤グループ

システム安全研究部門

小嶋上席技術研究調査官

橋倉技術研究調査官

北條技術研究調査官

高倉技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構：2名

原子力エネルギー協議会：1名

中部電力株式会社：1名

関西電力株式会社：1名

四国電力株式会社：3名

九州電力株式会社：2名

5. 要旨

原子力規制庁（以下「規制庁」という。）が実施する安全研究プロジェクト「実機材材料等を活用した経年劣化評価・検証事業」（令和2年度から6年度予定）（以下「本研究」という。）において炉内構造物（シュラウド）及び監視試験片を使用した研究を実施するため、提供可能時期等について、現在の状況について中部電力株式会社、四国電力株式会社及び九州電力株式会社より説明があった。

中部電力株式会社浜岡原子力発電所2号機のシュラウドの取り出し時期については、来年6月から7月において実施予定の炉内サンプリングの結果を持って、取り出し行程の詳細が決まる予定との説明があった。

また、監視試験片については、当初貸与依頼先として想定していた四国電力株式会社より現在の状況について説明を受けた結果、伊方発電所2号機の廃止措置工程のスケジュールがまだ不透明なため、スケジュールがある程度見通せる九州電力株式会社の玄海原子力発電所2号機に貸与依頼先を変更する事とした。

以上のことから、引き続き、シュラウド及び監視試験片の取り出しに係る時期及び方針等を面談にて協議していくこととなった。

6. その他

提出資料：特になし。